

課題名

一緒に笑って、一緒に泣こう！  
障がいがある人も含めた  
「みんな」で楽しむエンタメ体験の実証

NPO法人ピープルデザイン研究所  
×  
三木市 健康福祉部 障害福祉課



超福祉の学校@みき

SUPER WELFARE SCHOOL @ MIKI



PEOPLE  
DESIGN  
INSTITUTE

会社名：NPO法人ピープルデザイン研究所

発表者名：代表理事 田中 真宏

# 実証内容

新しい技術を使って一緒にエンタメコンテンツを楽しむ体験を通じて、障がいがある方には、どんな楽しみもあきらめず、三木市では心豊かに暮らせることを感じてもらいたい、障がいのない方には、多様な人々との関わりを通じて共感や理解を深める機会を作ること、心理的な壁を壊し、多様性を尊重する意識を高めてもらうイベントを実施しました。

当日障がいのある方も  
一緒に楽しめる用意した  
体験型コンテンツ  
(他にもあり)



# 実証結果

想定以上の来場者や、満足度が得られ、障がいについて理解を深めるための活動の充実と新しい技術を使って一緒にエンタメコンテンツを楽しむという目標を達成した。参加者のアンケートからも、非常に前向きなコメントを多く得られた。

## <主な参加者の声>

- ・ユニバーサルデザインの考え方を追加した最新の技術や商品に直接接する事ができ、感動を覚えました。さらに多くの方に知って頂きたいと思いました
- ・皆さんの優しい気持ちが伝わるイベントでした。このイベントが全国に届いていくことを願っています
- ・親子でとても楽しめました。ありがとうございます
- ・知らない製品ばかりでしたが、こんな便利で素敵なものがあるんだと驚きました。この企画がもっと広まっていけばいいなと思いました。

# 実証結果＜実際の参加者の声＞

---

インタビュー動画

# 今後の展開

---

アンケートの結果からは、非常に前向きな評価の声が多く、次回の開催が望まれる声も多くありました。

このようなイベント開催を希望する声は、もちろん三木市のみならず、県下にも多くあると思われます。

障がいのある方への理解促進という課題解決に向けて、今後も自治体の皆様と一緒に取り組みたいと思います。

しかし、今回はHYOGOTECHの取り組みにて実施させて頂いたものの、単独の市町で実施する際は費用に関する課題もあり、テーマを絞り広く参加できるスキームや、今回は市外への告知が弱く、より多くの参加者を集めるためのイベント告知への課題もあったと感じており、広域自治体との連携も必要であると感じています。

<https://youtu.be/VOZyFhyfB9Y?feature=shared&t=1174>

**【連絡先】**

NPO法人ピープルデザイン研究所 事務局

連絡先：[contact@peopledesign.or.jp](mailto:contact@peopledesign.or.jp)